

スタッフよりひとこと



中学校
PTA 役
員を引当
てて学校生
活 10 年

目にしようやく給食セン
ターの見学&試食をさせて
もらう機会が巡ってしまし
た。施設は私もお世話にな
った頃のまま。給食は国産
地産地消手作り、徹底した
衛生管理。上田市感謝！
保母 裕美（ほぼちゃん）



森林イ
ンストラ
クターの
試験勉強
で図書館

に行った。自習室が改装さ
れて自由闊達な意見交換が
できるようになっていた
が、皆静かに自習していた。
環境に人が追い付いていな
い。間に入るインタープリ
ターが必要だと思った。
平林 丈嗣（ひらりん）



母方の
ルーツで
ある滋賀
県へ。築
150 年

の祖父母の家は私が子ども
の頃のままの佇まい。琵琶
湖を電車で一周して、延暦
寺に参拝。比叡山と琵琶湖
に守られた滋賀、いつかこ
こに住むのもいいかな〜と
思った旅でした。
松尾 信子（まっつん）



-5℃
の菅平を
飛び出し
て、高知
県へ一時

退避。凍えるほどの寒さか
ら、汗ばむ陽気に、カラダ
はハロハロ。前は十分寒い
と感じていたはずなのに
…。 “慣れ” って怖いと思
いつつ、ヒトのカラダの不
思議を体感しました。
田辺 秀（アロハ）



SNS
で見かけ
て面白そ
うと思い
いマンス

リー手帳に 1 日 1 コマ絵日
記を始めてみました。面白
かったこと、楽しかったこ
とだけを書く！というルー
ルにしたけれど、自分が思
ってたより毎日楽しいこと
であふれていました。
千明 彩（ぎらちゃん）



己の人
生で最大
級の転換
点の一つ
を決めた

亥年でした。来る子年は 5
回目の年男になります。亥
年に選んだ結果が子年には
吉と出るか、凶と出るの
でしょうか。それは己自身の
思考、行動次第で答えは変
わって来るのでしょうか。
岩岡 義雄（いわちゃん）



夏に食
べた甘夏
の種を蒔
いたら、
20cm ぐ

らいに育った。寒いと思い
ベランダから室内へ移動し
たら子どもに葉っぱをむし
られてしまった。その棚に
も手が届くようになったの
ね。植物の置き場がもうな
いよ。
小菅 彩（こあちゃん）



浴衣を
除けば実
に数十年
ぶりの和
装。晴れ

着に風を通し、数々の小物
類を整え半襟を縫い付け
る。お天気や温気を気にし
つつ、広げたり畳んだり・・
は何日にも及んだが絹の手
触りや樟脳の香りに癒され
たひとときだった。
石川 順子（じゅんこさん）



日和田
山の登山
口に田部
井淳子さ
んの記念

碑が建てられました。「日和
田山からエベレストまで」
という文字が刻まれてお
り、子どもたちが登山や自
然を好きになるきっかけに
なればという思いも込めら
れているそうです。
仲川 好乃（よっちゃん）

NPO 法人 やまぼうし自然学校 ニュースレター

2019 年 秋・初冬号（12 月 26 日発行）

きのう、今日、あした。自然とともに生きる暮らし方を見つめていきます。



9 月 7 日（長野校）

峰の原高原リゾートのゲレンデに咲く花の写真フォトコンテスト
峰の原高原観光協会賞受賞作品（千明 彩）

代表理事のひとりごと



加々美 貴代（かみちゃん）

自然災害を通じ、地球の危機を感じた 1 年が終ろうとしている。
改めて「ひと」の生活について考え、向き合う時期が来ている。
SDGs 未来都市長野県は 12 月 6 日「気候非常事態宣言-2050
ゼロカーボンへの決意-」を発表した。便利さを最優先してき
たツケがきている。確かに多大な恩恵を受けてきたし、そういう時代であった。便
利さを享受するとなかなか不便さへは戻り難い。だからこそ、身を置いている自然
や環境を意識して、楽しみながら取組んで行きたい。明治維新以前の日本人はそれ
を楽しみながら生活してきた。四季の移り変わりや密接に関係している「自然暦」
が好例と言える。私たちも通勤時のバス利用や乗合移動、化石燃料の使用削減を実
践したい。できることは先送りできない「とき」が来ている。20 周年を迎える今
こそ、未来へ繋がる行動を共に。

ーわたしたちは春夏秋冬、長野本校と埼玉校・東京校で活動していますー

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
代表 Email：contact@yamaboushi.org URL：https://www.yamaboushi.org/

新職員よりごあいさつ

岩岡義雄(いわおかよしお)1960 年生まれ
59 歳 安曇野市(旧堀金村烏川扇町)出身

やまぼうしと長年連れ添ってきた
頼れるお父さん?!とうとう常勤職
員になってしまった理事より 17
年間の思いを込めて、ごあいさつ
です。



やまぼうし自然学校との関わりは、2002 年の森林インストラクター養成講座から始まりました。講座終了後は仕事と並行して森林インストラクター資格試験の受験勉強を続けながら、契約インタープリターとしての活動を行ってきました。

その経過の中で息子二人を初期のサマーキャンプや各種イベントに参加させたり、甥や長男をキャンプアシスタントに送り込んだりして、家庭内でのやまぼうし勢力拡大を目指してきました。今ではその息子二人とも就職して、東京都内で暮らしています。また、甥は所帯を持ちその長女と長男は、【森あちよびクラブ】に参加して楽しんでいる様子です。特に長女は 2020 年には小 1 になるので、【森でモリモリ遊び隊】に参加して遊びまくる気満々でいる様です。

一方、やまぼうし自然学校内部では常勤職員の入れ替わり、創設事務局長のご逝去、代表理事の交代等、重大な事態が次々と起きましたが新体制が発足した後、その体制下での業務運営が現在行われています。

その様な中で会社員の自分は、社命により信州新町、波田、大町、小諸と長野県内にある 4 事業所を転々とする異動が続きました。そして 50 代前半になって初めての東京都内勤務を命ぜられ、慣れない都会暮らしを経験しました。その後は小諸勤務、埼玉県浦和勤務を経て会社生活最後となる浦和の職場にて、定年まで 1 年を残して 2019 年 7 月末に退職(定年扱い)をしました。

東京と浦和の首都圏勤務時代は東京支部長の配下にて、主に黒川ネイチャーボランティア、キッズフェスタ、自然観察会等で、契約インタープリターとしてのお手伝いをさせて頂きました。その当時大変お世話になりました東京支部長さんや、それぞれのインタープリターの皆様には、この場をお借りして御礼を申し上げます。

そして、浦和での会社員生活が終わると同時に上田に戻り暫くの間、休養生活を送っていましたが、変化が乏しく刺激が少ない毎日に飽きてきた 2019 年夏、やまぼうし自然学校では高年齢者の自分を常勤職員として拾ってくれました。再就職も決まり、こうして公式的には 2019 年 11 月より、やまぼうし自然学校長野本校スタッフとしての第二の人生が始まりました。

契約インタープリターとしての経歴は長いのですが、事務局側から見るやまぼうし自然学校の実験を経験するのはこれからが本番と考えています。体力、気力、知力が続く限りはこの仕事を続けたいと思っていますので皆様方、これからも今までと変わらずによりしくお願い申し上げます。

(独り言：年金受給者になるまでの間位は頑張れるのかな。)



サマーキャンプ卒業生より ～谷山すみれさん～

「すみちゃん」こと谷山すみれさんは高校 1 年生。
嬉しいことに、サマーキャンプ参加の卒業生が今夏
キャンプのお手伝いに！
ニューズレターへの寄稿を
快く引き受けてくれました。

高校生になった
すみちゃん



私は小学校 2 年生の時に初めてサマーキャンプに参加しました。最初は知らない人だらけの環境に不安を感じましたが、年齢関係なくたくさんの友だちができました。また森遊びやドラム缶風呂など、東京にいたら経験できないような新鮮な体験ができて、とても楽しかったことを覚えています。

それからは毎年サマーキャンプとスノーキャンプに参加し、たくさんの思い出ができました。

左・初参加の小 2 の時

6 年生の時、「もう今年で最後か」と思うと寂しくなりました。そんな時にスタッフの方から、「高校生になったらアシスタントとして参加できるよ」と聞き、「じゃあそうしよう!」と、アシスタントとして戻って来ることを決めました。



小 6 の森あそび

そして高校生になった今年、アシスタントをやりたい、という気持ちは変わっておらず、むしろ「小学校の先生になりたい」という新しい夢ができたため、より一層その気持ちは強くなっていました。

そしてアシスタントとしてサマーキャンプに行くことになりました。私は子どもが大好きなので、どんな仕事もやり遂げられるだろうと意気込んでいましたが、アシスタントの仕事は思っていた以上に大変でした。子どもたちは元気いっぱいなので、指示一つ通すのも一苦労で、1 日目から疲労困憊でした。それと同時に、一言で子どもたちの関心を集めてしまうスタッフさんたちってすごいなあ、と改めて感じ、自分も頑張らなきゃ、と思いました。

4 日間はあっという間でしたが、とても濃い 4 日間でした。1 日目は「知らない子と寝れない!」と言っていた子が他の子と仲良く寝られるようになったり、「虫が怖い」と言っていた子が少し近づけるようになったりと、子どもたちの成長する姿を見て私自身も励まされたし、子どもとの関わり方などたくさんのことを学びました。

いま私は「小学校の先生になる」という夢を実現するため、勉強などで忙しい毎日ですが、今回キャンプに参加して本当によかったと思っています。

遊び隊卒業生より ～手塚慧介くん～



遊び隊の卒業生「けいすけ」は白馬高校の2年生。いつも楽しそうに山のこと、学校や友達との活動のこと、将来の夢などを話してくれる彼が、気持ちのこもったステキな文章を寄せてくれました。

高校1年生の時。菅平にて。

初めまして、白馬高校国際観光科2年の手塚慧介です。小学1年生から中学3年生まで、森でモリモリ遊び隊に参加させていただきました。



私は、白馬村で下宿生活をしながら学校に通っています。国際観光科は主に英語教育がメインで実践的な教育が特徴です。そこに私は山登りや山スキーをやりたいと入学しました。入学してからは、山岳部に入部して山に登りながらいろいろなアルバイトをしています。

1年生の夏休みに白馬山荘でアルバイトをしていた時、ネパールのゴーキョピークという山の写真を見てビビッと来ました。そこに立っている自分をとてモリアルにイメージできました。「ここに行くしかない」と思いお金を貯めることにしました。冬休みには、岩岳スキー場でパトロールのアルバイトをし、そこで稼いだお金でネパールに行きました。初めての海外で一人で5000mを超える登山をすることを許してくれた両親には、とても感謝しています。



ゴーキョピーク（5360m）
やまぼうしの手ぬぐいとともに！

ゴーキョピークの頂上に立った時は、感動というより次に登る山のことと頭がいっぱいでした。次は来年、2020年の秋にアマダブラム（6812m）に登る予定です。応援よろしくお願いします！

放課後などは東山と呼ばれる古いスキー場の跡地を走ったり、ボルダリングやクライミングなどを行っています。白馬に来て1年半になりますが、毎日新しい発見や感動があり、白馬のポテンシャルの高さを日々実感しています。

最近、スウェーデンの高校生グレッタ・トゥーンベリさんの気候変動対策を求める活動を知り、毎日遊ばせてもらっている自然が、このままの形で経済活動が進んでいくと失われてしまう事を知りました。そこで、グローバル気候マーチ in 白馬や、白馬×ACTION HACTION（気候変動による難民のチャリティーバザー）を友達と協力して開催するなど、自分たちにできる活動を考え、実行しています。



やまぼうし自然学校での活動を振り返ると、とにかく自由に遊ばせてもらったことが印象に残っています。それをサポートしてくれたスタッフのみなさんはすごいと思います！例えば木の上でお昼を食べたり、山ぶどうのツルでブランコをしたり、傍から見ると危なそうな遊びを沢山しました。しかし、いつもそれを止めるどころか、どうやったら危なくなくできるかを一緒に考えてくれました。私についている自然のアンテナの感度を、いつもマックスまで上げてくれました。やまぼうし自然学校で培った経験や学びが、今私が活動するときの大きなモチベーションになっています。

最後に、やまぼうし自然学校の事務所に入った時の、あったかい雰囲気大好きです！いつまでもあったかくやわらかいやまぼうし自然学校でいてくれることを願っています。

【長野校】森あちよびクラブ

ちょっとひととき

森あちよびクラブ写真館

落ち葉あそび、
宝さがし、青竹
パンづくり！



秋



写真・
松尾 信子

やまぼうしフィールド紹介 ～自然体験の森～



やまぼうしのメインフィールド「自然体験の森」は年間約10,000人が使う場所です。四季折々、色々な声が響いている自慢の場所。今回はこの森の誕生についてお伝えします。



2003年に「JT 助成活動」として日本たばこ産業の支援を頂き整備しました。『地域振興に根ざした「環境学習の森」設置事業』を目的として事業申請を出しました。もらえればラッキー、駄目元で出した申請がめでたく採用に至り、さあ大変！作る場所が無い！！慌てて菅平観光協会に相談をしました。その結果、現在の場所を整備、活用することになりました。クロスカントリーのコースとして使用していた場所です。

整備の条件として、会場使用料として一人100円を納める取り決めをしました。地域のメインとなるフィールドが確保でき、炭窯、野鳥観察小屋、五右衛門風呂、簡易トイレ、簡易水道開設、植樹、パンフレット作成の整備を行いました。

やまぼうしとして炭窯設置は3基目となります。1996年に桑田の森（菅平高原温泉ホテル所有）に2基設置しています。炭窯も炭焼きも師匠は入軽井沢館の山宮さんです。

場所が決まったところで、整備スケジュールをたて、菅平の皆さんにもご協力頂き、5月着手、6月完成を目指して現地の草刈り、造成工事からスタートしました。



造成前



造成後



炭窯場所決め



炭窯基礎



石とべと

炭窯の材料となる赤い石（高温でも割れ難い）とべと（土）は山宮さんのお計らいで入軽井沢の山から運ばせてもらいました。運搬用の2トントラックやミニバックホーなどは菅平のホテルの方からお借りしました。



最初の石

準備が整ったところで、いよいよ炭窯の石を並べ、べとで接着していきます。そこは師匠山宮さん無くしては先へ進めませんでした。最初に炭窯の肝である煙道を慎重に設置し、続いて窯口を決めました。石の形や大きさも重要なポイントで師匠の指示の元、石を運んだり、捏ねたべとを玉にして渡したりと作業が進みます。



側壁も積み上がり、焚き口に大きな石を設置すると炭窯らしい姿を現しました。ここまでくればもう少し、と思いきやここからが難しい。天井が崩れ落ちないように棚を作って、その上に石を積みます。最後に要石を入れて全体に土を被せ、中に入れた棚を燃やして炭窯の完成です。こうして自然体験の森の炭窯はできました。2003年6月15日のことです。



今年架け替えた屋根や野鳥観察小屋、炭窯お披露目会については次号に続く。今となっては生き字引となった私が皆さんにお伝えします。今でも昨日の事のように思い出されますが、周りの樹々の大きさを見ると時の流れを感じます。お楽しみに。

文・加々美 貴代

【長野校】 イベントレポート

秋の森でキノコ狩り & 料理

2019年9月21日(土) 実施

傍陽ふるさと公園を舞台に、キノコで秋の訪れを楽しみました。
はじめは、講師の西牧さんと一緒に森に、キノコの探索に出かけます。「あそこにも!」「ここにも!」キノコを見る目が冴えていきます。

採った後には、選別タイム。採ってきたキノコから食べられるキノコを選び出します。「あれ?これだけ…」食べられるキノコの少なさにビックリ!そして、キノコ採りの大変さを実感しました。

お昼のメニューは洋風に♪キノコのアヒージョとキノコのパエリア、そして、定番のキノコ味噌汁です。お箸を持つ手が、なかなか止まりませんでした。

午後はゆったりクラフトタイム。みんなで〈とちのみボーヤ〉を作りました。

お腹いっぱい、キノコを満喫した1日でした。



文・田辺 秀

カヤック千曲川リバーツーリング

企画・運営 MTS デザイニング 2019年9月23日(祝) 実施

この秋、千曲川流域では台風19号の豪雨により各所で災害が起きてしまいました。そのわずか3週間前に実施したカヤックツーリング。台風17号が日本海へ抜けた雨上がり、強風が雲を飛ばして青い空と白い雲、夏並みの暑さの中、穏やかな川面にカラフルなカヤックが並びました。参加者はセミプロ級から初心者まで年齢も様々。水辺に尻込みしていた私ですが、息子を誘って初参加。チンしたら!流されたら!!とドキドキしながらスタートしました。



上田市小泉から千曲市戸倉千曲川緑地公園まで8km程度の川下り。普段車で通れば10分程度の見慣れた景色が、カヤックでのんびり3時間程のツーリングはとても気持ち良く、川の流れをじっくり味わうことができました。主催者の田中さん、伊藤さんのご指導やおもてなしも素敵で、すっかり参加者として満喫してしまいました。

自然の怖さも、楽しさ美しさも経験することで自分がすべきことが見つかり、行動につながるのではないのでしょうか。

文・保母 裕美

【長野校】 冬のイベント案内

スキーピクニック

1月19日(日)

2月16日(日)

3月15日(日)

子ども

スキー子どもの日は、地域の
路線バスに乗って菅平へ行こう!
上田駅発着でスタッフが同乗します

●時間: 8:15 上田駅発乗車
16:00 上田駅着

●参加費: 各回 5,200円
(昼食代・バス代・レンタル代別)



●対象:
スキー初心者の
小学生

根子岳スノーシュー

2月22日(土)

大人

冬の根子岳をカラダいっぱい
楽しむ1日!
ゆっくり歩いて山頂へ
帰りは、おしり滑りで麓まで♪

●時間: 8:30~15:30

●参加費: 5,000円
(スノーシュー・
ストックレンタル
込み)



●集合:
やまぼうし
自然学校事務所

ジビエランチ

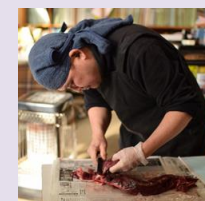
家族

3月15日(日)

ジビエマイスターと一緒に、
楽しく調理! ヒトとケモノの
つながりを、作って食べて、
体験してみませんか?

●時間: 10:00~14:00

●参加費: 大人 3,000円
学生 2,000円
(小~大学生)



●集合:
やまぼうし
自然学校事務所

お寺で手前みそづくり

3月29日(日)

真田の郷で
春の訪れを

家族・おひとり様

感じながら、自分だけの味噌を
作りませんか?

●時間: 9:30~15:00

●参加費(昼食代込み):
一般 2,000円
小学生 1,000円
(材料費別途
2,000円/
味噌3kg程度)



●会場・集合:
種月院長谷寺(上田市真田町長)

※詳細はHP、Facebookをご覧ください。お問い合わせ・お申し込みは長野校まで。

首都圏イベントレポート

鎌倉自然観察会 2019年11月15日(金)実施

穏やかな秋の一日、古都鎌倉を巡る自然観察会に長野校スタッフ松尾が参加してきました。木々の葉はすっかり落ちて、いつ雪が降ってもおかしくない菅平から、ようやく紅葉が色づきはじめた鎌倉へ季節を逆戻り。暖かな陽射しに気持ちもはずみます。

鎌倉駅から路線バスに乗り込み、夕陽台公園へ。参加者のみなさんで自己紹介をして、さっそく歩きはじめます。案内役はインタープリター久野さん。「鎌倉逗子ハイランド」の住宅地を通り抜け、浄明寺緑地で富士山と海が見える絶景を楽しみながら、巡礼古道へ。山道には、巡礼者が運んだと思われる板碑(いたひ)が多数置かれています。山道の下りは今日一番の難所!



全員無事に古道を通りぬけ、旧華頂宮邸庭園(洋風庭園)、報国寺(竹寺)、一条恵観山荘(和風庭園)とタイプの違う庭園の景観を楽しみました。中でも京都から移築された一条恵観山荘は、2017年に公開が始まったばかりの新しい名所です。静かなカフェもあって、個人的に再訪したいスポットでした。



田楽辻子(でんがくずし)、大佛次郎別邸他、史跡を経由しつつ鎌倉駅前まで戻り、ランチタイムはちょっと贅沢な和食膳。これも首都圏イベントの楽しみのひとつです♪

食後は賑わう小町通りを横目に路地裏めぐり。表の顔とは違う趣きを味わいながら、のんびり歩きました。

ところどころ立ち止まりながら自然や歴史に触れ、まだ知らなかった鎌倉の魅力をたくさん感じる事ができた贅沢な時間でした。皆様、ありがとうございました。写真・文 松尾 信子



首都圏講座・イベント案内

横浜野毛山自然観察会

真冬の観察会は街なかで! 野毛山から馬車道、日本大通りなどを巡りながら、開港後の横浜中心部に残された近代の歴史的建物、数々の発祥地も訪ねます。ランチは創業55年の老舗北欧レストランスカンディヤで。ノスタルジックで横浜情緒溢れる空間もお楽しみいただけます。

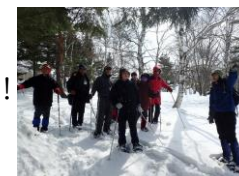
コース 日ノ出町駅→野毛山公園/動物園→配水池→天神坂→野毛大岡川→福富町公園→伊勢崎モール→吉田橋→馬車道通り→牛馬飲水槽→相生通り→横浜公園→日本大通り→開港記念館→<スカンディヤ>→開港波止場→大棧橋→開港広場→横浜海岸教会→シルク通り→旧横浜居留地48番館→中華街

日時 1月24日(金) 少雨決行 9:30 京浜急行/日ノ出町駅集合
参加費 5,500円(ランチ代込み)
定員 20名(先着)

ボタニカル・ラボ 第3回

森を楽しむ講座 2019 特別編

もっともお勧めの真冬編です。スノーシューを履いて森林インストラクターと標高1500mの雪原散策。植物のもつ不思議なチカラについて学びを深める少人数制の講座です。地元農園食材をふんだんに使った自然食ランチも好評!



テーマ 樹木Ⅱ 真冬の植物観察とハーブソルトづくり
会場 リゾートロッジ「時空の杜」長野県須坂市峰の原高原
日時 2月23日(日) 10:00-15:00
参加費 9,000円(自然観察・講義実験・自然食ランチ&ハーブティー・スノーシューレンタル)
定員 10名程度(先着) *お友達やご家族などペアでご参加の方にプレゼント進呈!

※日帰り設定ですが、別途ご優待価格にて時空の杜に宿泊できます

お問合せは東京校/担当石川まで。詳細案内を送付します。

●電話: 090-5338-5741 ●FAX: 03-5993-4882 ●E-mail: tokyo@yamaboushi.org

【長野校】森でモリモリ遊び隊

夏が過ぎ、秋が深まっていく菅平。気温が低くなってきても「子どもは風の子」とはこのこと！と言わんばかりに元気に活動しています！今年度は竹林整備体験に挑戦しました。隊員たちの外遊びの力、メキメキと育っています。

第5回 根子岳ピクニック



菅平のシンボリック的存在である花の百名山根子岳へ！雨に降られることもなく、みんなよく頑張りました！やっぱりきれいな景色の中で食べるお弁当は美味しいね。

第6回 遊び隊祭り

3コースに分かれている遊び隊の隊員が一堂に会す遊び隊祭り。イチから自分たちで考えて、カフェ屋さん、射的屋さんなど素敵なお店が並びました。お客さんに楽しんでもらえたことでしょう。特別ゲストには腹話術師のヒロ・タッキーさんも！



丸子の龍顔寺で活動しました。十数メートルある竹が倒れる様子に隊員たちはくぎ付け。整備した竹はパン作りやクラフトに活用しました。

文・千明 彩

第7回 竹林整備体験



【埼玉校】フォレストキッズ

9月7日 川遊び

湧水群から流れ込む川の水は、ホトケドジョウ（絶滅危惧種）が生息するほどきれいです。今回は魚などの餌となる、小さな水生生物の観察をしました。



11月9日 日和田山登山

10月は雨で中止。やっとお天気になり、リクエストの多い山登りが出来ました。男坂コースと見晴らしの丘コースに分かれて登り、頂上付近で合流です。



文・仲川 好乃

賛助会員レポート



やまぼうし自然学校の皆様こんにちは！
賛助会員の五味直喜と申します。

ハケ岳南麓の富士見町在住で、多摩市立ハケ岳少年自然の家にて学校担当をしています。やまぼうし自然学校との出会いは、15年ほど前になります。ほとんど顔を出すことはないのですが、加々美代表以外にご存知ないかと思います。

私は自然の家で学校への自然体験アクティビティの紹介・作成・アドバイスや指導の他、ハケ岳南麓及び南アルプスの釜無川源流域を主なフィールドとして、希少種の保護活動等を行っています。

保護活動では、釜無河テアツモリソウ自生地保護の責任者として、毎月一回釜無川源流域を巡視しています。また、自然の家で行っているメインプログラムの林業体験は、評価が高く国土緑化推進機構や全国青少年教育推進機構等で森林E S Dの事例紹介等をさせてもらっています。

子ども達の自然体験がフィールドワークとして共通する部分が多いので、菅平方面に足を運んだ際は立ち寄り、情報交換等を行えればと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

五味さんとは2007年の森林インストラクター養成講座に受講頂き、それからお付き合いが始めました。現在はお仕事でも森の知識や技術をご活用頂き、講座がお役に立ってうれしいです。
加々美 貴代

五味さん



評価会報告 ①泊2日@大田区休養村とうぶ

1年間の体験学習・キャンプ・遊び隊・上高地ガイド等々…共に働いてくださったインタープリター会員の皆さんが集まり、実績数やプログラムの実施傾向、お客様からのアンケート結果を振り返る「評価会」を12月14日～15日に行いました。（東京・埼玉支部は12月23日実施）

学校団体向け体験学習・行政や団体よりの委託事業を担当している職員松尾からの報告。里山体験（森づくり体験）やゲーム（オリエンテーリング、チャレンジワークショップ）が人気だったこと。

学校評価は、○しっかり注目させてから話し始めるところ○間伐材など自然の話が良かった○指示のタイミング、聞き取りやすい声の大きさ○児童、生徒同士の教えあいの姿○発見や気づきの多さ○関心を引き出す工夫○子どもたちの反応を丁寧に拾うところ○発言しやすい肯定的展開、と良い評価。✕作るものに関連した地域の話、自然の話をもっとしてほしい✕指導者の声が小さい✕指示語が多い、指示の区切りが長い✕生徒同士の協力を促してほしい✕危険な場所の具体的な指示を、といった改善点。来年の課題として共有しました。



サマー&スノーキャンプ in 信州、イベント、遊び隊について担当職員田辺より報告。サマーキャンプはここ数年満員御礼が続き、職員だけでは回しきれなくなってきましたが、今年はメインの役割を協力くださる会員さんが配置できました。

参加者アンケートでも”満足”の評価が多く、野外料理対決、森遊び、ドラム缶風呂の人気も当初より変わらないものとなっています。来年への課題は、アシスタント制度の再編成・森あそびの森の拡大の検討・人員配置・スノーキャンプ企画。森でモリモリ遊び隊は3コース77名が活動中です。土日の開催日のため、若手の会員さん中心に子どもの目線で野外活動を共に楽しんでいます。

会議の後は温泉タイムでリフレッシュ。宿舎の美味しい会席夕食を楽しみながらの懇親会兼忘年会！一堂に会する機会は少ないので、近況から昔ばなしまで大いに盛り上がりました。

2日目はブレインストーミング「組織運営改善と20周年に向けてできること」を全員で話し合いました。美しい菅平の森林、誰もが働きやすく輝ける自然学校。会員職員一体となって、中長期計画と継続運営の方針を確かめました。

皆様今年も一年間お疲れ様でした。

文・保母 裕美

2019年9月～11月の事業実績

■体験学習

小布施町立栗ヶ丘小・伊那市立伊那西小生活科・明治学院大・市ヶ谷小・大田区立志茂田中・大田区立馬込中・清泉小・大田区立出雲中・目黒日本大中・敬和学園高・大田区立大森東中・大田区立矢口中・大田区立大森第四中・大田区立南六郷中・大田区立大森第二中・大田区立蓮沼中・大田区立蒲田中

■講座

長野校：インタープリター養成講座（7回）

東京校：森林ボランティア養成コース（3回）森を楽しむ講座森めぐりコース（4回）森を楽しむ講座街の樹めぐりコース（6回）神奈川シニア大学専科コース（3回）神奈川シニア大学入門コース（3回）黒川ネイチャーボランティア（3回）

■イベント

長野校：秋の森でキノコ狩り&料理・リバーカヤック

東京校：ボタニカルラボ・金沢八景自然観察会・鎌倉自然観察会

■遊び隊・フォレストキッズ

森でモリモリ遊び隊（8回）森あちよびクラブ（1回）フォレストキッズ（2回）

■委託・講師

小諸ミズオオバコたんけんピオトープ・丸子コスモス大学・クラブツーリズム牧場ハイキング・ガーデンセラピー講習会・太郎山自然観察ガイド・林野庁研修講師・東御市民の集い講師・GreenGift 地球元気プログラム・菅平保育園・秋のキッズフェスタ・幼保連携型認定こども園にしおか・上田市立塩田西小親子学習・アウトドアゲーム指導法講習会・鴻巣市立小学校教諭研修旅行・信州バザール塩原組クラフト・小諸 Tree House Project × abn 地球を守ろう！プロジェクト・栃木交通ツアー四阿山根子岳縦走・東御市 NEAL リーダー養成講座・野外力検定・Outside Day 他

■事務局（会議・出展・協力・参加）

根子岳モニタリング調査・峰の原ネットワーク・長野県環境審議会・長野県公共事業評価監視委員会・戸隠ふれあいの森笹刈り・高山蝶クロマメパトロール・根子岳四阿山保全協議会・根子岳笹刈り・森林ボランティアNPO連携推進会議・根子岳笹刈りイベント・根子岳モニタリング笹刈り・CONEフォーラム in 高遠・上田市みどりの体験塾・上田市中央公民館運営審議会・上田市林業振興協議会視察研修・岩手県花巻市議会事務局自然体験事業視察・ブラセス稲刈り&大豆収穫・信州堂りんご収穫・白馬×ACTION HACTION 他

■上高地白樺自然学校

ツアー77本ガイド99名、学校1校ガイド24名、常駐ガイド延べ83名

編集後記

今号は、来年の20周年に向け「人」と「菅平というフィールド」をテーマにお届けしました。これまでの歴史を振り返りながら、未来を考える。そんな1年のスタートにむけて、未来を担う高校生2人、離れた場所からずっと応援してくださっている賛助会員さん、素敵な文章を寄稿していただきありがとうございます。そしてやまぼうしと繋がるすべての方にあらためて感謝申し上げます。みなさま、どうぞ良いお年をお迎えください。（松尾）

NPO法人やまぼうし自然学校とは

長野県の菅平高原に本部をおき、「森とつながり、森とともに生きることのできる人を育てる」をミッションとして体験学習・キャンプ・いつでもガイドなど、人と森、人とひとをつなげる活動を展開しているNPO法人です。1995年に発足し、2000年に長野県では環境系第一号のNPO法人として認証されました。2004年には東京支部、埼玉支部も発足し、「森でつながるいのちのわ」を広げています。